

## 東京都各局における大島への支援策

局名	内容
総務局	<p>○10月15日17時38分 情報連絡態勢にて対応(終了)</p> <p>○10月18日21時00分 「東京都災害即応対策本部」を設置</p> <p>○職員派遣(総合防災部3名、行政部4名、その他2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・21日から27日まで、総合防災部兼務職員20名派遣</li> <li>・23日から28日まで、各局職員20名派遣</li> <li>・28日から11月1日まで、各局職員20名派遣予定(第1陣と交代)</li> <li>・27日から総合防災部兼務職員20名派遣(第1陣と交代)</li> </ul> <p>○一般社団法人東京建設業協会との協定に基づいて重機を提供</p> <p>10月19日6時30分 岡田港へ重機が到着(第八天照丸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルドーザー 3台</li> <li>・ユンボ 2台</li> <li>・油圧クラップル 3台</li> </ul> <p>(重機提供元:清水建設株式会社)</p> <p>10月20日18時40分 元町港へ重機が到着(海上自衛隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油圧クラップル 1台</li> </ul> <p>(重機提供元:清水建設株式会社)</p> <p>10月23日5時30分 元町港へ重機が到着(東海汽船)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10トンダンプ 2台</li> </ul> <p>(重機提供元:清水建設株式会社)</p> <p>○島外避難者の受け入れ</p> <p>10月23・24日 国立オリンピック記念青少年総合センター及び島嶼会館で受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>10月27日15:00現在</u></li> <li>国立オリンピック記念青少年総合センター 避難者28名 付添者20名 計48名</li> <li>島嶼会館 避難者 3名 付添者 9名 計12名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24 時間体制で都職員が常駐、電話等で相談を受ける体制</li> <li>・国立オリンピック記念青少年総合センターでは、看護師が24時間体制で対応</li> <li>・島嶼会館では、看護師が乳幼児の健康確認を実施</li> </ul> <p>○建物被害認定調査の支援</p> <p>罹災証明に必要となる建物被害認定調査を行う支援職員を派遣</p> <p>11月5日から9日まで、派遣人員64名(都職員32名、区市町村職員32名)</p> <p>○支援物資の提供</p> <p>10月19日6時00分 岡田港へ物資が到着(東海汽船)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土のう袋 2,000袋</li> </ul> <p>(内閣府を通じて、国土交通省より提供)</p> <p>10月20日16時38分、17時58分 大島空港へ物資が到着(航空自衛隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土のう袋 25,300袋</li> </ul> <p>(東京建設業協会 15,000袋、都建設局10,300袋)</p> <p>10月21日6時00分 元町港へ物資が到着(東海汽船)</p> <p>10月22日5時30分 岡田港へ物資が到着(東海汽船)</p> <p>10月23日5時30分 元町港へ物資が到着(東海汽船)</p> <p>10月24日5時30分 元町港へ物資が到着(東海汽船)</p> <p>10月25日5時30分 元町港へ物資が到着(東海汽船)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙「支援物資リスト」のとおり</li> </ul> <p>10月25日13時30分 国立オリンピック記念・青少年総合センターへ、尿とりパットと紙オムツを搬入</p>

財務局	<p>○東京都トラック協会へ車両手配を依頼(物資の運搬のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月19日午前 搬送先:竹芝栈橋 内容物:マットレス(日本赤十字提供) 車両:10トン車1台</li> <li>・10月20日午前 搬送先:辰巳埠頭 内容物:マットレス(日本赤十字提供) 車両:2トンロング1台</li> <li>・10月21日午前 搬送先:辰巳埠頭 内容物:アルファ化米 車両:2トンロング2台、3トン車1台</li> </ul> <p>○庁有車の手配 10月24日午後 避難者10名(うち乳幼児2名)を島嶼会館へ移送</p>
主税局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税の減免制度についてツイッター及びフェイスブックで周知</li> <li>・主税局公式ホームページに「災害に関する税務上の取扱いについて」を掲載</li> <li>・主税局公式ホームページに被災した大島町内の自動車に係る自動車税減額の申立について(今回は、り災証明書等不要)掲載</li> </ul>
生活文化局	<p>○ ボランティアの受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・17日から現地調査(ボランティアニーズや受け入れ態勢の確認) 3人</li> <li>・大島社会福祉協議会が大島災害ボランティアセンターを設置(18日)</li> <li>・20日から大島災害ボランティアセンター業務支援 4人</li> <li>・21日から島内外のボランティア受入開始(島外からの受け入れは条件あり)</li> <li>・21日にボランティア受入れ業務支援等のため、職員(1人)を派遣</li> </ul> <p>○ 支援物資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月23日到着 哺乳瓶640本(東京都生活協同組合連合会)</li> </ul>
都市整備局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年台風第26号により島しょ部において住宅に被害を受けた方に対する災害復興住宅資金利子補助実施を決定</li> </ul>
環境局	<p>○LPガスの被害状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月16日 元町地区に所在するLPガス販売店には被害がないことを確認済</li> <li>・10月16日 土砂等で流出した家屋等からのLPガスボンベが発見された場合は回収するよう都LPガス協会を通じ販売店に依頼済</li> <li>・10月16日以降現在まで、家屋等からのLPガスボンベによる火災等の情報は入っていない。</li> <li>・10月21日 避難勧告が出された地域にLPガスボンベ貯蔵施設を有する2つの販売店に対し貯蔵しているガスボンベの安全対策について要請(うち、1つの販売店はボンベを移動、もう1つの販売店は要請を受け警戒態勢をとる。)</li> <li>・10月22日 避難準備や避難勧告等の島内放送時に、避難時にはLPガスボンベの元栓を閉めることを住民に呼びかけるよう大島町に要請</li> <li>・10月24日 避難所が開設された場合に、「LPガスボンベの開栓方法及びLPガスの燃焼異常等があった場合は販売店に連絡すること」といった内容の注意書面を避難所に掲示等するよう大島町に依頼</li> <li>・10月24日 21日に販売店へのガスボンベの安全対策要請(上記参照)に対し、ガスボンベの移動を予定していた販売店においてガスボンベの移動が完了</li> </ul> <p>○都立大島公園内の被害状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、現地の公園施設の管理担当を通じて被害状況を確認</li> <li>・10月21日 本庁の職員2名を派遣し、公園施設の復旧状況を調査</li> </ul> <p>○災害廃棄物処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月18日 一般廃棄物処理施設について、設備の被害がないことを確認</li> <li>・10月29日 処理支援のため本庁の職員3名を派遣し、現場確認等実施予定</li> </ul>

<p>福祉保健局 病院経営本部</p>	<p>○東京DMAT 10月16日 13時00分 東京DMAT(都立広尾病院1チーム)派遣 10月17日 14時30分 東京DMAT(都立多摩総合医療センター1チーム)派遣 ※都立広尾病院チームと交代 10月18日 15時35分 東京DMAT(都立墨東病院1チーム)派遣 ※都立多摩総合医療センターチームと交代 10月19日 東京DMAT活動終了 ○患者搬送 10月16日 大島医療センターから都立広尾病院へ医療搬送(3便、計7名) 10月20日 大島医療センターから都立広尾病院へ医療搬送(2便、計14名) ○医療救護班 10月22日 医療救護班(都立広尾病院1班、都立墨東病院1班)派遣</p>
<p>福祉保健局</p>	<p>○医師の派遣 10月16日～19日 ご遺体検案のため監察医務院より医師1名を派遣 10月23日 医療救護班(東京都医師会(白鬚橋病院1班、南町田病院1班))派遣 ○支援物資 10月18日到着 簡易トイレ100個、ドライアイス100kg 10月19日到着 ドライアイス1,000kg 10月20日到着 ドライアイス2,000kg 10月21日到着 消毒用アルコール、次亜塩素酸消毒剤他生活用品 10月22日到着 アルファ化米37,000食、調製粉乳300本、ドライアイス4,000kg 10月23日到着 哺乳瓶600本、動物用ケージ20個 10月24日到着 ドライアイス200kg 10月25日到着 ドライアイス800kg、感染症対策防護具150人分 ○避難所の衛生管理指導・保健指導の支援体制の確保(島しょ保健所大島出張所) ○保健師派遣 10月20日 都保健師(2班4名)を派遣 ○介護職員派遣 10月20日 都職員(4名)を派遣 ○水道施設の被害状況確認 ○伊豆大島等台風26号災害東京都義援金を募集(10月19日から) ○被災者生活再建支援法を適用  ○島外避難支援 10月23日 ・避難者の健康状態の確認(医師1名、看護師1名) ・移送中の付添(医師、介護職員等) ・国立オリンピック記念青少年総合センターに介護職員2名を派遣 10月24日 ・移送中の付添(医師、看護師等) ・島外避難者受入用に竹芝ターミナルに毛布50枚を輸送、車椅子5台を調達 ・国立オリンピック記念青少年総合センターに簡易トイレ30個を輸送 ・協定に基づき同行避難動物(犬1頭)を保護(東京都獣医師会) ○島外避難者の受入 社会福祉施設等で受け入れ(10月26日12時現在 避難者29名、付添9名)</p>
<p>病院経営本部</p>	<p>○島外避難者宿泊施設へ看護師(延べ18名)派遣 10月23日～30日 避難者の健康管理、健康相談</p>
<p>産業労働局</p>	<p>・林道の被害状況確認等のため職員(延べ4名)を派遣(10月17日から23日まで) ・平成25年台風26号により直接の被害を受けた大島町の中小企業者に対する「災害復旧資金融資」の実施(10月18日から) ・農地・農業用施設の被災状況調査等のため職員(2名)を派遣(10月18日から19日まで) ・漁業指導調査船による漁場等被害状況調査の実施(10月18日から)</p>

建設局	<p>10月15日17時38分 東京都水防本部を設置  10月16日11時58分 東京都水防本部を廃止  10月21日16時00分 建設局災害即応対策本部を設置</p> <p>○河川  ・職員(延べ5人)を派遣。現地調査、連絡調整に従事(10月16日から10月23日まで)  ・現地で国土交通省と連絡調整中  ・国土交通省と今後の対応について協議中</p> <p>10月19日 大型土のう設置開始  神達 計画延長約100m  元町三丁目 計画延長約440m</p> <p>10月22日 大型土のう計約540m設置完了  10月22日から、さらに現地応急復旧作業のため、延べ6人を派遣  レスキュー・ナビゲーションを活用した現地調査、連絡調整に従事</p> <p>・現地で国土交通省と連絡調整中  ・国土交通省と今後の対応について協議中</p> <p>10月22日 堆積工上部の流木撤去完了  10月23日 堆積工内の大型土のう設置完了</p> <p>堆積工の除石については、水分が多くぬかるんでおり、除石作業が難しいため、上流に大型土のうを配置することで、仮設の堰を設置した。</p> <p>○道路  ・職員(延べ7人)を派遣。レスキュー・ナビゲーションを活用した現地調査、連絡調整に従事  ・都道・町道復旧に関する技術的支援</p> <p>○支援物資の提供  10月20日 土のう袋 1万300袋を送付  10月20日 土のう袋 1万5,000袋を送付(東京建設業協会)  10月29日ごろ 測量用具 20セット等送付予定</p>
港湾局	<p>○職員(2人)を大島へ派遣。現地確認・復旧作業補助に従事(終了)  ○重機運搬用船舶等の確保(終了)  (船舶協力:日本内航海運組合総連合会、日鉄住金物流株式会社  荷役協力:東京港運協会、東海海運株式会社  資材輸送協力:東海汽船株式会社  その他業務協力:東京港埠頭株式会社、東京シップサービス株式会社)</p> <p>○本庁(離島港湾部)と大島支庁(港湾課)との緊急連絡体制の継続  ○職員(2名)を大島へ派遣。現地確認・復旧作業補助に従事(22～30日)  ○島外避難者搬送用船舶の確保  (船舶協力:東海汽船株式会社)  ○島外避難者搬送対応(東京ヘリポート)  ○港湾、漁港等被災状況調査協力(17日～)  (伊豆諸島、小笠原諸島災害対策支援協議会)</p>
交通局	<p>○都営バスによる避難者の移送  ・10月23日 大島町からの避難者を、都営バスにより竹芝栈橋からオリンピックセンターに移送(都営バス5台により避難者とその付添者計32名を移送)  ・10月24日 大島町からの避難者を、都営バスにより竹芝栈橋からオリンピックセンターに移送(都営バス3台により避難者とその付添者計23名を移送)</p>

水道局	<p>○10月17日、以下を派遣(送付)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急給水車(2トン車)2台</li> <li>・復旧支援先遣隊(特別緊急車)1台</li> <li>・職員(8人)</li> <li>・給水袋(6リットル用) 6,000枚</li> <li>・ペットボトル東京水(350ミリリットル)10,000本</li> </ul> <p>○10月18日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町役場にて応急給水及びペットボトル東京水の配布(12時から20時)</li> <li>・岡田出張所にて応急給水及びペットボトル東京水の配布(12時から20時)</li> </ul> <p>○10月19日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町役場にて応急給水及びペットボトル東京水の配布(8時30分から17時20分頃)</li> <li>・大島支庁にて応急給水及びペットボトル東京水の配布(18時頃～20時)</li> <li>・岡田出張所にて応急給水及びペットボトル東京水の配布(8時30分から20時)</li> </ul> <p>○10月20日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島支庁前で応急給水、ペットボトル東京水配布(8時30分～20時00分)</li> </ul> <p>○10月21日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布(8時30分～19時00分)</li> </ul> <p>○10月22日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布(8時30分～19時00分)</li> </ul> <p>○10月23日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布(8時30分～19時00分)</li> </ul> <p>○10月24日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布(8時00分～19時00分)</li> </ul> <p>○10月25日、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布(8時00分～12時00分)</li> </ul> <p>○10月26日、避難勧告発令のため待機</p> <p>○10月27日、以下を実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布(8時00分～19時00分)</li> </ul>
教育庁	<p>○現時点で対応している内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島高校、大島海洋国際高校を避難所等として提供</li> <li>・アドバイザースタッフの派遣(休校状況等を踏まえ27日まで一時延期)</li> </ul> <p>○今後の予定(現在検討中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員住宅の活用</li> </ul>

支援物資リスト(10月25日時点)

品名	調達数量
ペットボトル東京水(350ミリリットル)	10,000 本
アルファ化米	37,000 食分
レトルト食材	22,520 食
調製粉乳(粉ミルク)	300 本
哺乳瓶	1,240 本
大人用オムツ	122 パック
子供用オムツ	122 パック
おしりふき	816 個
生理用ナプキン	702 パック
ウエットティッシュ	200 個
ペーパータオル	2,496 本
ティッシュペーパー	5,040 箱
トイレットペーパー	5,088 ロール
タオル	2,000 枚
大人用歯ブラシ	1,152 本
子供用歯ブラシ	540 本
歯磨き粉(大人用)	600 個
歯磨き粉(子供用)	200 個
乾電池	1,000 本
ドライアイス	4 kg
使い捨て容器(皿)	29,160 枚
使い捨て容器(おわん型)	30,000 個
紙コップ	38,700 個
割り箸	28,800 膳
食器洗用手袋	1,440 枚
マスク	27,600 枚
消毒用ハンドジェル	100 本
ハンドタイプアルコール	200 本
ポンプタイプアルコール	50 本
次亜塩素酸消毒剤	50 本
ヘルメット	20 個
作業用合羽	177 着
作業用ゴーグル	61 個
作業服(上下)	270 着
作業靴	88 足
作業用ゴーグル	23 個
ヘッドライト	13 個
スコップ	12 本
革手袋	400 組
手袋(作業用、滑り止め付)	460 足
軍足(現場用ソックス)	100 足
編み上げ靴	100 足
長靴	130 足
ジャンパー	300 着
シャツ	360 着

ズボン	360 着
ウインドブレーカー	289 着
合羽	30 着
肌着	上13,600枚 下6,700枚
肌着(子供用)	上2,260枚 下1,144枚
靴下	133,348 足
靴下(子供用)	5,148 足
テレビ	20 台
電気ポット	50 台
FAX付電話機	20 台
発電機	24 台
投光器	16 台
インクジェットプリンター	2 台
インク	10 本
土のう	25,300 袋
目切りチェーンソー	2 台
サンドポンプ	8 台
ホース	32 本
キャプタイヤ	8 個
接続金具(ホース用)	2 個

※以下、島外避難者受入施設への支援物資

品名	調達数量
尿とりパック	6 パック
大人用オムツ	14 パック

別紙「支援物資リスト」10月21日分

品名	調達数量
食器洗用手袋	1,440枚
ハンドタイプアルコール	200本
ポンプタイプアルコール	50本
マスク	5,600枚
次亜塩素酸消毒剤	50本
大人用オムツ	102パック
おしりふき	204個
ウェットティッシュ	200個
ペーパータオル	2,496本
生理用ナプキン	702パック
紙コップ	2,700個

※ 調達数量には庁内各局が調達した数量も含まれる。

別紙「支援物資リスト」 10月22日分

品名	調達数量
アルファ化米	37000食分
粉ミルク	約300本
大人用オムツ	20パック
子供用オムツ	122パック
おしりふき	612個
ティッシュペーパー	5040箱
トイレットペーパー	5088ロール
タオル	2000枚
紙コップ	6000個
大人用歯ブラシ	1152本
子供用歯ブラシ	540本
ドライアイス	4トン

※ 調達数量には庁内各局が調達した数量も含まれる。

別紙「支援物資リスト」 10月23日分

品名	調達数量
編み上げ靴	100足
長靴	100足
ジャンパー	300着
シャツ	360着
ズボン	360着
哺乳瓶	1240本
消毒用ハンドジェル	100本
レトルトカレー	10,000食
紙コップ	30,000個
使い捨て容器(皿)	29,160枚
割り箸	28,800膳
使い捨てマスク	12,000枚
テレビ	20台
電気ポット	50台
作業用合羽	131着
作業用手袋	360組
作業用ゴーグル	38個
ヘッドライト	7個
革手袋	400組
作業服(上下)	50着

※ 調達数量には庁内各局が調達した数量も含まれる。

## 別紙「支援物資リスト」 10月24日分

品名	調達数量
インクジェットプリンター	2台
インク	10本
使い捨て容器(おわん型)	30,000個
レトルト食材	12,520食
歯磨き粉(大人用)	600個
歯磨き粉(子供用)	200個
マスク(大人用)	10,000枚
乾電池(単一)	500本
乾電池(単三)	500本
肌着(男性用)	上6,800枚 下3,350枚
肌着(女性用)	上2,600枚 下1,288枚
靴下(男性用)	6,748足
靴下(女性用)	6,600足
肌着(子供用・男子)	上1,144枚 下573枚
肌着(子供用・女子)	上1,116枚 下571枚
靴下(子供用・男子)	2,640足
靴下(子供用・女子)	2,508足
FAX付電話機	20台
発電機	16台
投光器	16台
目切りチェーンソー	2台
作業用合羽	46着
作業用ゴーグル	23個
ヘッドライト	6個
スコップ	12本
ウインドブレーカー	289着
作業服	220着
作業靴	88足
合羽	30着
長靴(鉄板入り)	30足
手袋(作業用、滑り止め付)	100組
ヘルメット	20個
軍足(現場用ソックス)	100足

別紙「支援物資リスト」 10月25日分

品名	調達数量
サンドポンプ	8台
発電機	8台
ホース	32本
キャブタイヤ	8個
接続金具(ホース用)	2個

※以下、島外避難者受入施設への支援物資

品名	調達数量
尿とりパック	6パック
大人用オムツ	14パック